

# 事業実施主体等取組評価報告書（産地競争力の強化を目的とした整備事業）

(都道府県名：秋田県)

(秋田県 平成21年度)

市町村名	事業実施主体名	政策目的	取組の分類 (対象作物・畜種等名)①	作物等区分① 政策目標①	成果目標の具体的な内容①	事業実施後の状況①						成果目標の具体的な実績①	事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力等)	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考
						計画時 (平成17年)	1年後 (平成18年)	2年後 (平成19年)	3年後 (平成20年)	目標値 (平成20年)	達成率				交付金	都道府県費	市町村費	その他				
仙北市	仙北市	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	飼料増産(牧草)	生産性向上 【飼料増産】飼料自給率が17%増加	71.0%	71.0%	88.0%	104.0%	88.0%	194.1%	飼料生産(自給率)が33%増加した	草地整備改良 A=8.1ha 隔障物 L=2,401m 基地誘導柵整備 N=1基	20,011,950	10,000,000	0	10,011,950	0	H18.10.17	飼料自給率は、目標年度において、大幅に向上しているがこれは、一時的に放牧頭数が減少したために、100%を超えたものであるが、計画に則した、利用体系が確立できているため、目標年度に近い利用実績である。	当該放牧場の草地整備改良により、放牧受け入れ頭数が増加傾向にあり、当該牧場の生産性向上が地域内の大家畜農家の労力軽減と良質粗飼料確保に結びついている。	
美郷町	高野デントコーン生産組合	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	飼料増産(デントコーン)	生産性向上 【飼料増産】受益面積を29%増加	500a	500a	650a	650a	645a	103.4%	受益面積が30%増加した。	細断型ロールバレー1台	3,937,500	1,725,000	0	0	2,212,500	H18.7.31	細断型ロールバレーの導入により、デントコーン生産の作業効率が改善され、受益面積も当初計画を僅かながら上回る増加が見られ、拡大が図られた。	細断型ロールバレーの導入により、減少傾向にあった長大飼料作物の作付け拡大に結びついた。また、粗飼料の高品質化と給餌時ロスの低減が図られたことにより生産性が向上している。	
湯沢市	雄勝酪農農業協同組合	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	畜産生産基盤育成強化(乳用牛)	生産性向上 【畜産生産基盤育成強化】(共同利用畜舎の整備)労働時間を25%削減	4,221時間	-	2,325時間	2,494時間	3,166時間	163.7%	労働時間を41%削減した。	フリーストール牛舎3棟他	305,231,850	145,348,000	0	0	159,883,850	H19.5.9	労働時間の軽減では、すでに達成率163.7%となった。しかし経産牛157頭で目標の180頭に達しなかったことや、配合飼料等の高騰により、収益率が8.8%と低い結果となった。今後、速やかな増頭および平均搾乳量を上げる。細断型ロールバレーの導入によりとうもろこしの作付を拡大し、コンキレージ給与を促し産乳量と自給率を上げ収益率の向上を図る。	フリーストール牛舎と搾乳ロボット等を組み合わせた省力システムの整備により、導入2年度目から目標を達成することが出来た。今後は平均搾乳量や収益率の向上が図られるよう引き続き指導する。	
由利本荘市	上原粗飼料利用組合	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	耕種作物活用型飼料増産(牧草・稲わら)	生産性向上 【耕種作物活用型飼料増産】受益面積を59.4%増加	牧草 11.1ha 稲わら 0.0ha	牧草 11.1ha 稲わら 0.0ha	牧草 11.1ha 稲わら 6.6ha	牧草 11.1ha 稲わら 6.6ha	牧草 11.1ha 稲わら 6.6ha	100.0%	受益面積が59.4%増加	ロールバレー1台、ラッピングマシン1台	3,930,000	1,310,000	0	0	2,620,000	H19.3.22	収穫機械の導入により、作業効率が改善され、適期に効率的な収集作業を行い、粗飼料自給率の向上を図ることができた。	機械導入により、これまで作業委託等に頼っていた牧草収穫作業が適期に効率良く行うことができ、良質粗飼料が安定的に確保できるようになった。また、収集が困難であった稲わらについても収集が可能となり、自給粗飼料の増産につながった。	